

『シャクルトンの大漂流』(EEグ)

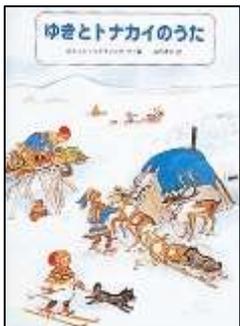
ウィリアム・グリル／作 千葉 茂樹／訳 岩波書店

1914年、シャクルトン隊長は27名の隊員と69頭の犬と共に南極大陸横断を目指した。しかし、かれらが乗っていた船、エンデュランス号は氷の海で動けなくなってしまい、あえなく沈没してしまう。氷の上に取り残された隊員たちは、この絶体絶命のピンチを切りぬけることができるのか？



『ゆきとトナカイのうた』(EEハ)

ボディル・ハグブリンク／作・絵 山内 清子／訳
ポプラ社／福武書店



秋になると、ラップ・ランドに住むマリット・インガたちは冬に備えて大いそがしだ。村中の人と協力して、高原に散らばったトナカイを集め、秋のテントから冬の家へ大移動を始める。自分たちが育てたトナカイの肉でくんせいを作り、はいだ毛皮であたたかい服をぬう。きびしい自然の中で、トナカイの群れと共にくらすサーメ族の物語。



おはなしの庭

日時：令和6年12月26日(木)
10:30~11:10
内容：東京子ども図書館の
浅見和子さんによるすばなし
場所：中央図書館 2階
おはなしのへや
対象：5歳から小学生とその保護者
定員：20名程度(先着順)
申込み：12月12日(木)9:30から
中央図書館へ
(電子申請・電話可)

ビブリオバトル

日時：令和6年12月22日(日)
令和7年 1月26日(日)
15:00~16:00
内容：1人5分間で、おすすめの本を
紹介し合うゲーム
場所：狭山台図書館
2階 視聴覚室
対象：小学生以上
申込み：不要
持ち物：おすすめの本1冊



毎月23日は「家庭読書の日」 狭山市教育委員会

よむぞうタイムズ

89号

5年生 6年生

狭山市立図書館 2024.12.15 発行

今年も残すところ、あと半月。

2025年はどんな一年間になるかな？

楽しいことばかりではなく、大変なこともあるかもしれない。でも、信頼できる仲間と協力すれば、どんなこともきっと乗りこえられる！ 今回のテーマは「仲間といっしょに」。



『私立探検家学園1』(JPサ1)

斉藤 倫／著 桑原 太矩／画 福音館書店

「私立探検家学園」に入学する5年生の松田コロム。学園は、ふつうの学校とはちがうみたい。登校初日、校門の前に川があるのに橋がない。どうやって教室に入ればいいのか？ 探検家になるため仲間たちといっしょに学期末のミッションにいどんでいく。

『私立探検家学園』シリーズは1~5巻まであるよ。ぜひ、続きも読んでみてね。



図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。イベント、開館時間、休館日等の最新情報はこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646
狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801
狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



『あした、また学校で』（JPク）

工藤 純子／著 講談社



滝川一将は、弟の将人が先生におこられて泣いていたと幼なじみの咲良から知らされる。原因は、大縄跳び大会の練習に参加しなかったからだ。運動が苦手な将人はチームのみんなからも大会に出るなどと言われてしまい、学校に行けなくなってしまう。先生や親にも相談したけれど、大人たちはたよりにならない。学校はだれのものなのか。一将と咲良たちは立ち上がる！

『となりのアブダラくん』（JPク）

黒川 裕子／作 宮尾 和孝／絵 講談社



晴夜のクラスにパキスタンからアブダラくんが転校してきた。アシスタントコーディネーターに任命された晴夜は、アブダラくんの学校生活をサポートすることに。でも、イスラム教では一日五回のお祈りの時間があるし、みんなと同じ給食だって食べられない。文化も見た目も言葉もちがうぼくたちは、一体どうやってわかり合えばいいんだろう。ぼくたちがおたがいを知るためにできることは…。

『幸せな日々』（JSガ）

ミロ・ガヴラン／著 ao／絵 山本 郁子／訳 国土社



ペーロとユリッツァは親友。遊びに行くのもいっしょだし、いたずらだって二人ならこわくない。ある日、ペーロはユリッツァに家庭のなやみを打ち明けた。実はペーロには母親しかおらず、親戚も女の子ばかり。本当は、父親や男の兄弟がほしいと思っていた。そんななやみを解決するため、二人はひみつの作戦を決行する！

『アリスとふたりのおかしな冒険』（JSフ）

ナターシャ・ファラント／作 ないとう ふみこ／訳 佐竹 美保／絵 徳間書店



家に引きこもってばかりいるアリスは、スコットランドの寄宿学校に入れられた。学校にもなれ、いたずら者のファーガスと地図を読むことが得意なジェシーと友達になる。そんな時、

パパがいるイタリアから秘密の小包と手紙がとどく。「小包をもってきて」「城で会おう」と。会いに行けるのは大オリエンテーリング大会の時だけ。同じグループになったファーガスとジェシーに協力してもらいパパに会いに行こう。

『消えたレッサーパンダを追え！』（J317カ）

警視庁「生きもの係」事件簿 たけたに ちほみ／文 西脇 せいご／絵 学研プラス



動物園からレッサーパンダがぬすまれた！ 事件の知らせを聞いた警視庁の「生活環境課環境第三係」、通称「生きもの係」。動物を見つける捜査ができるのはこの係だけ。動物園からの知らせにどんな捜査を始めるの？ 日本だけでなくほかの国の人や専門家にも相談、協力してぬすまれた動物をさがし出せ。生きもの係の福原警部に注目しよう。この話は、本当にあった事件を元に書かれているよ。

『和ろうそくは、つなぐ』（J576カ）

大西 暢夫／著 アリス館



和ろうそくって知っていますか？ 和ろうそくとは、昔から続く技術で一本一本手作りしている日本の伝統工芸品。この本には蠟の原料やつくり方、蠟をしぼった後に出てくる大量のしぼりカスを藍染職人が再利用する様子が書かれている。和ろうそくから始まるモノづくりの輪が日本各地の職人へとつながっていく。

